



聖徒のための情報誌

**今月号の内容**

孟蘭盆会 (1面)  
 霊断師養成講習会報告  
 ローカルニュース (2面)  
 暑中お見舞い (3・4面)  
 法華経のお話⑬・よろこび  
 ちゃんの質問箱 (5面)  
 よろこび法話 (6面)

平成24年 (2012年) 8月1日 (水)  
**8月号**

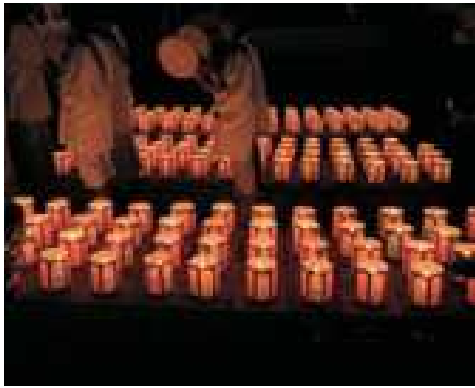
発行所  
 〒873-0002  
 大分県杵築市南杵築1539番地  
 妙経寺内

**日蓮宗霊断師会**

会長 新聞 智雄  
 日蓮宗霊断師会事務局  
 電話 0978-62-3570  
 FAX 0978-62-3571

編集人 松本 恵昌  
 購読料 1部 105円  
 毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ  
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>  
 よろこび投稿メール  
[yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp](mailto:yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp)



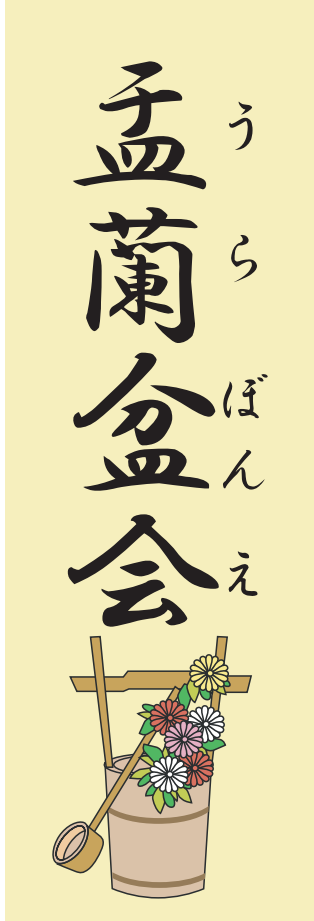
私の自坊では、八月にお盆を迎えます。町全体が何処とは無く賑やかになるのを覚えます。そうです。無数の霊達が懐かしい我が家に帰って来て、姿無き人口がいつべんに増えるからです。

どこのお墓も草木を剪定し、墓石を洗い、墓地が一斉に清々しくなります。お宅の方では仏具を下げ、こまめに浄め、いつもは重ねて納めてあるお位牌を取り出して並べ、お花や供物を整え、ロウソクを一对三段に灯して仏壇を飾ります。縁側には新仏の戒名を書いた大提灯を下げて、御先祖様を迎える準備に入ります。

いつもは朝だけ上げるご飯も、十三日から十六日までは、三食膳に、おやつタイム付きです。夕方には松の細木を玄関先で焚いて、いわば御先祖様への灯台です。



岩手県山田町善慶寺聖徒団团长  
 日蓮宗霊断師会本部理事  
 総合研究所副所長  
 別格本山妙顯寺 加歴四十八世  
**三浦 恵 伸**



十六日にはお寺で塔婆を上げて施餓鬼供養のお経を誦します。そして夜、山田湾に灯籠を浮かべ、霊を水向供養するので。檀信徒と共に伝える山田町の風物詩です。

お盆の起こりは、慳貪の罪滅ぼし。いわゆる「ケチの償い」

お釈迦様の高弟、目連尊者は、修行で得た天眼通という神通力で、亡くなった悲母が今霊界でどんな暮らしをしているのかを眺めます。

さぞや良い世界に逝っただろうと、上・仏界から伺いますが、菩薩・縁覚・声聞界には姿がありません。人間界には居るだろうと見渡しますが、居ないのです。

私たちが僧侶も、檀家さんのお宅を廻りお経を上げます。親戚友人の方々が訪ね合ってお線香を立て、都会に行っている若者の成長ぶりに眼を見張り、旧交を温めています。

尊者は母を飢えから逃れさせたとい、食物を供養します。「ああ我が子からやと届いた」と、口にしますが、その寸前にポツと紅蓮の炎に変わり、飢えから逃れることが出来ません。では、せめて喉の渇きだけでもと、水を届けますが、これも又、炎となって尊者も力尽きてしまいます。頼みの綱はお釈迦様のみ。

「お師匠様。どうか我が母を救い下さいませ」

「見たであろう。そなたの母は生前、物を惜しんだのじゃ、今その報いを受けておる」

「どのようにすれば母を救う事が出来ましょうか」

「教団が雨季の精舎内での修行から、乾季の托鉢に出る修行の間に一日の休暇がある。その時に千人の修行僧に布施をするが良い。息子であるそちの、その功德によつて、母は苦しみから逃れるであらう」

御教えの通りに修しますと、母は清涼を得て穏やかな姿を息子に見せることが出来たのでした。

この事が支那を経て、今も日本国に伝わっているのです。

尊者は母を飢えから逃れさせたとい、食物を供養します。「ああ我が子からやと届いた」と、口にしますが、その寸前にポツと紅蓮の炎に変わり、飢えから逃れることが出来ません。では、せめて喉の渇きだけでもと、水を届けますが、これも又、炎となって尊者も力尽きてしまいます。頼みの綱はお釈迦様のみ。

今又、同じ手口で世界を混乱に陥れようとしています。共に住宅ローンの焦げ付きから始まっているのです。

一部の者の慳貪では?

1929年ニューヨーク・ウォール街の金融破綻に端を発した、世界恐慌・第二次世界大戦。私の叔父(長崎市久本寺6世仁田原恵王師)も35歳・赤紙一枚で支那の露と消えました。世界中が塗炭の苦しみに喘いだのです。

しかし、その渦中(鎌倉期)に在つて日蓮大聖人は、この世を捨てずに浄土化する生き方を指し示されました。しかも、その教えに従えば、即座に浄土が現前し、後生も安穩を保証する「日蓮仏教」です。

「政治も宗教も恃めないなら、せめて、あの世だけでも救われたい」という、人々の需要があるからです。

今この社会情勢・格差社会は一部の者の慳貪が起こしている姿ではありませんか?

その次に展開するのは必然、地獄・餓鬼・畜生・修羅道の四悪趣です。

仏教史と世界・日本史を重ね見ますと、共に救いがたい世状の時に阿弥陀経が生まれ、念仏信仰が起きています。



**津軽宇田山 間法寺**

8月15日 午後2時より  
 「お盆流し灯籠供養祭」  
 毎月 最終日曜日「盛運祈願会」  
 毎月 第2土曜日  
 午後3時より「唱題修行」

〒030-1403  
 青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2  
 TEL 0174-25-2712

住職 工藤 堯幸  
 副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

**日蓮宗 東光山妙正寺 聖徒団**

妙正寺聖徒団 俱生毎月守は  
 小松園男 ありがたい

8月15日(水)11時 盂蘭盆大塔婆施餓鬼供養会  
 毎月1日午前10時 盛運祈願会

妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄  
 〒071-1423  
 北海道川上郡東川町東町2丁目6-3  
 TEL 0166(82)2714  
 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

**美濃乃國 常唱寺 聖徒団**

〒501-3734  
 岐阜県美濃市千畝町2738-2  
 TEL/FAX 0575(33)1430

**本山 妙顯寺**  
 日蓮大聖人御真骨奉安

齊藤日軌貫首著  
 「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」  
 国書刊行会

CD「感謝百万遍陀羅尼」  
 「ないないブルース」

好評発売中!

〒327-0843  
 栃木県佐野市堀米町264  
 TEL 0283-22-1524  
 FAX 0283-22-4194  
<http://www.sano-myokenji.jp>

日蓮宗霊断師会会長  
 感通寺聖徒団团长  
**新聞 智雄**

〒162-0044  
 東京都新宿区喜久井町39  
 TEL 03-3209-8782  
 FAX 03-3208-7966